



CIF JAPAN

NEWSLETTER No. 52

<https://cif-japan.com/>
cifjapan08@gmail.com

Council of International Fellowship Japan

発行人：NPO 法人 CIF ジャパン 理事長 坂岡隆司
 編集人：加納光子 発行日 2024 年 3 月 31 日
 事務局：〒607-8216

京都市山科区勤修寺東出町 75 からしだね館

Tel. 075-574-2800

Fax. 075-574-0025

目次	巻頭言	江口 敏一	1 頁
	CIF INTERNATIONAL の動き	事務局	2 頁
	CIF ジャパンのこれから	梶村 慎吾	2~3 頁
	久しぶりの海外 そこで考えたこと	三宅 浩	3~4 頁
	再びフィンランドに向けて	藤原 望美	4 頁
	孤独と孤立を考える	加納 光子	4~6 頁
	総会のお知らせ・他	事務局	6 頁

巻頭言

今に生きる当時の収穫した理念

副理事長 江口 敏一
 (1983 年 ツインシティー)

私は、1983 年 4 月より 8 月までミネソタのプログラムに参加した。

ミネソタ大学でアメリカの福祉事情の学習と地域の施設見学、併せて 24 か国 30 名の参加者の交流やそれぞれの国での自分の専攻分野の事情説明を最初のひと月行われた。その後 3 か月自分の専攻分野での施設実習に参加した。私の場合は、ミネアポリスの街の中心部にあるルーテル系のアウグスターナ老人ホームで、アドミニストレイティブ・ステューデント（運営管理の実習生）として受け入れていただいた。

受入れ姿勢は「日本の福祉に役立つことであれば何でも教えます」であった。理事会参加・スタッフ会議参加・利用者の屋内外のアクティビティ等の参加が許された。マニュアル（高齢者支援のあらゆる分野の考え方・実施方法）等のコピー、ミネソタ大学の希望するセミナー参加等が奨励された。

ある時、大学の講演で北京大学の教授が「私が今からお話することを皆様の一人でも中国政府に告げると私は帰国できません」と言いながら講演を始められたのには驚いた。言論の自由と聴衆への信頼を感じたからである。

ひと月ごとに替わる 4 軒のホームステイ先の最初は、ミネソタ大学理学部の教授宅で、最初の一言は「あなたが私の家に来ていただき嬉しい。私の家をあなたの家としてお使いください。食事作り・掃除・洗濯・入浴自由にどうぞ」と言われた。40 年足らずの人生でこのような家庭的な受

容を初めて経験し感激した。在宅の間は庭の芝刈り・結婚式の参列・オーケストラのコンサート・寄宿舎制大学生の息子の学園祭・教会の牧師招聘諮問会への出席等日常生活で時間の許す限りあらゆる場所に連れて行っていた。4 軒のホームステイ先は総じて同じ様であった。

また、実習先は異なるが、プログラム参加のフィンランドの刑務所実習生、アイスランドの牧師の 2 人とは特に親しく飲食を共にした。他のメンバーでは 7/4 の独立記念日の休日に、私の運転でカナダのフランス系の街ウイニペグに行こうということになり、アイスランドの牧師、フィリピン、ニカラグア、レバノンの女性 3 人の 5 人で旅をした。カナダの国境で「どこの国ですか」と尋ねられ、全員国籍が異なるので「ディファレント・カンTRIES」と応えると「そんな名前の国は聞いたことがない」との対応ではアメリカ大陸のユーモアやジョークを楽しむひと時となった。

4 か月後、別れを惜しみながらの帰国の途はヨーロッパ経由の一人旅でドイツを中心に高齢者福祉の在り方と困難な施設経営の学びをする機会を得た。

これらの経験を活かしつつ、高齢者福祉 15 年、福祉教育 13 年そして児童福祉 14 年と福祉分野を渡り歩いて、現在は児童養育の課題こそ日本の将来がかかっていると感じている日々である。人格形成も家庭形成も社会形成も全て教育の課題であり、課題解決には教育との連携が欠かせない。今、再度マサチューセッツ州のダニエル・グリンバーグらが始めた「超」学校ともいふべき「サドベリー・バレー校」の教育に活路を見出したいと模索中で、まだしばらくアメリカの開拓者精神にあやかりたいと思う日々である。

CIF INTERNATIONAL の動き



シアトル (米) の海

各国の 2024 年 IPEP 実施予定

国	実施日	期間	申込締め 切り日 — 殆ど終了	言語
ARGENTINA	September	2 weeks	March 30 th , 2024	Spanish
ATHENS	May 25- June 08	15 days		English
AUSTRIA	April 27- May 15	19 days	December 15 th , 2023	English
FINLAND	May 2-27	26 days	December 1st, 2023	English
GERMANY	September 13-29	2 Weeks	February 1st, 2024	English
INDIA	January 6- 26	21 days	December 15 th , 2023	English
ISRAEL	September		July 31 st , 2024	English
KYRGYZSTAN	May 11-25	2 weeks	January 30 th , 2024	English
SWEDEN	April 5- May 4	4 weeks	November 13 th , 2023	English
SWITZERLAND	April 3-19	17 days	November 14 th , 2023	English
SCOTLAND	May 13-26	14 days		English
TURKIYE	May 6-26	21 days		English
TAIWAN	October 19- November 2	15 days	May 15 th 2024	English

Israel と Taiwan はまだ申し込みます。

会員数及び今後の国際会議開催予定

2022 年、CIF の世界全体の会員数は 30 개국、546 人と報告されました（2021 年会費納入者数）。会員数最大の支部はドイツ 149 人、2 番目はスウェーデン 80 人、3 番目はフィンランド 65 人。日本は 25 人でオーストリア、アメリカ、エストニア、フランスに続いて 8 番目に会員数が多い支部となっています。5 人から 10 人ほどの会員で国際研修や代表者会議開催などの活動を実施している支部が多数あります。2023 年は、最大支部のドイツで国際大会が開催されました。日本の皆さんも国際大会参加についてぜひご検討ください。

2025年：CIF 国際大会
開催国 インド

今、思うこと・感じること

CIF ジャパンのこれから (気になっていた三点)

梶村 慎吾 (1996 年 クリーブランド)

1. 数年にわたるコロナ禍によるパンデミックがようやく下火あるいは終焉を迎え、社会はおおむね正常に戻ったといえるのではないのでしょうか。マスクをつけて歩いている人もだんだん減少してきているように感じます。

コロナ禍が続いていた間は C I F ジャパンの活動は無理ができず、活発ではなかったといわざるを得ない状態だったように思います。その中でも新入会員だった藤原望美さんが C I F フィンランド主催のオンラインによる福祉研修に参加されました。(さらに、本年 (2024 年) 同じ C I F フィンランド主催の福祉研修に参加されます。)

2. さて、法人組織としての C I F ジャパンに関して申しますと、平成 23 (2011) 年に「特定非営利活動法人 (NPO 法人) C I F ジャパン」として法人組織の団体になりました。私個人に関して言えば、アメリカのクリーブランドにおける C I P 研修を 1996 年 11 月から 97 年 3 月まで体験したあと、CIP 研修経験者の組織として始められた CIF ジャパンに参加して 2007 年から財務担当

役員を仰せつかってきました。その後高齢のため財務担当が不適切と感じるようになり、2023 年度より財務担当を外していただいております。江口敏一様が交代して下さり有難うございます。

3 CIF ジャパンの過去を振り返ってみますと、「福祉、医療、保健、教育等の人的サービス従事者等に関して海外研修及び異文化交流に関する事業を行い、従事者の専門的能力の向上と国際理解の進展に寄与することを目的とする」として法人設立の目的が示されておりそれに従った活動を続けてきました。

当法人はこれまで 2 度、各国の CIF の中から日本での研修希望者数名を選んで主として社会福祉に関する研修を行いました。その間、大学（同志社大学）（主として社会福祉関係の）諸団体及び個人からの協力を得て充実した国際研修を実施できたと記憶しております。国際研修のため数十万円の寄付をある組織から贈られたことも記憶しておくべきでしょう。

パンデミックの終了後、これから CIF ジャパンはどのような組織として会の歴史を展開して行くことになるのでしょうか。楽しみです。

久しぶりの海外 そこで感じたこと

三宅 浩（2004 年 カラマズー）

昨年、しばらく続いたコロナによる海外渡航の制限が緩和されました。そこで、数年ぶりに海外へ出てみました。

折しも CIF 国際会議がドイツで開催されることもあり、これを機に娘が暮らすルクセンブルクとイタリア・ミラノを訪ねました。国際会議の様子は前号に投稿しましたので、今回は久しぶりに国外へ出て感じたこと、考えさせられたことを記したいと思います。

つい最近、日本の名目 GDP がドイツに抜かれ世界第 4 位に後退したとのニュースが流れました。ヨーロッパでは物価高と円安も絡んで、予想以上に物価が高騰しているのには驚かされましたが、日本円の価値が下落しているのが実感でした。娘曰く、月収 4,000 ユーロ（約 640,000 円）位ないと普通の暮らしができないとのこと。外食したらランチなら 3,000 円、ディナーなら 10,000 円以上は覚悟しなければなりません。決して高級レストランではないのですが、それでも人気の店には行列ができ、多くの人が集い、消費しています。その光景を見ると人々はそれなりの収入も確保できていることがわかります。

先日ラジオの番組で、日本の観光地で外国人観光客

は 1 個 2,000 円のハンバーガーを食べ、日本人観光客は 500 円のうどんの屋台に行列を作っていたと。それを聞いて日本人は益々貧しくなっていくのではないかとの危機感を覚えました。

もちろん、洋の東西を問わずすべての人が恵まれているわけではありません。国民一人当たりの GDP が世界一で所得格差も少ないルクセンブルクでもアーケード街では物乞いを見かけましたし、国際会議の会場になったハノーバーの中央駅周辺にも相当数の路上生活者がいました。駅の公衆トイレの使用料が 2 ユーロ（320 円）だったので、彼らはトイレを使うことができず、周辺には悪臭が漂っていました。

昨年 11 月にハワイへ行った時も、ワイキキの新築マンションの平均購入価格が 300 万ドル以上といわれる中で、その周辺にはテント村と呼ばれる貧困層の人たちが暮らす場所もあり、国民の経済格差は日本より大きいようです。

今回ヨーロッパへ向かうのに、今はロシア上空を飛ぶことができないため、直行便でも長時間フライトになるとのことでしたので、ドバイ経由の南回りを選択しました。帰りの便でのことです。ドバイ出発が定刻より 1 時間半遅れました。機内で客室乗務員と話しをしていると、遅れた原因は日本へ向かうのに中国上空を飛行するため、時折中国空軍の演習で飛行区域と飛行可能時間に制限が設けられるとのこと。「その頻度が最近では増えています。」との話を聞き、『台湾有事が近いのか？』なんてことを想像してしまいました。日本でニュース報道を聞いているだけでは出てこない感覚です。

近年、私の周りにも海外へ行こうとしない、海外への関心が薄い若い人たちが多くいます。海外へ出ると新たな刺激を受けることができたり、多様な価値観を共有したり、日本の良さを再認識させられたりします。特に対人サービスに従事している人たちには、積極的に外の世界を見ることで、人間性を高める機会にしてほしいと思っています。



ルクセンブルクのアーケード街にて



初夏のヨーロッパでは、大勢の人が太陽の光を浴びながら外で食事をしています



ミラノで最後の晩餐の壁画を見ました。本物に触れると感動が大きいです。

再びフィンランドに向けて

藤原 望美 (2020年 フィンランド)

2024年5月3日からのフィンランド IPEP に参加予定の藤原です。2020年はコロナ禍でキャンセル。2021年はバーチャルプログラム。このたび3度目の正直で対面参加です。

「2024年、年を明けたら取り組もう」と決めていたことが2つあります。それは英語づけ生活と日本文化紹介の話題探し。

英語はいつまで経っても上達している実感は湧きません。が、英会話教室のインストラクター諸氏が多様な文化背景をもち、かつ社会的に成功した方々ばかりなので、お会いできるのが純粋に楽しみになっています。彼らの本業やプライベート・出身国のエピソードを伺うにつれ、感覚の違い・地理的環境の違い・文化背景の違い、など発見がたく

さんあります。例を挙げるなら「ゴッドファーザー」という言葉の真意を教わったこと。アルパチーノが主演を務めた映画史上最高の映画とされていますが、以前の自分はタイトルの理解は「マフィアの親分なのかな？」程度のものでした。しかし、本来はキリスト教の洗礼を受ける時に立ち合い、かつ名付け親となり、精神的なつながりを保ち、時にその子はゴッドファーザー宅に遊びに行き多くの時間を過ごす。万が一、実の両親が死別した場合、ゴッドファーザーが子の親として成人までその成長を保護するものなのだとか。A先生の子のゴッドファーザーはB先生だと教わり、現在でも十分に機能する制度だと知り感銘を受けました。また緯度の高い寒い地域からの来日女性はシェアハウスでココローチを見つけた時、そとついで窓の外にレットイトゴーさせたのだとか。私なら息をのむか大声で叫びバチンと叩きそうなものですが…。初めて見る人にとってはカブトムシと同様な受け止めなのかもしれません。ともあれ、知らない世界を教わることのワクワク感は楽しいものです。彼らは日本女性と結婚している場合もあれば、来日して間もない場合もあり、そんなときには英語対応可能な医療機関やコロナ対応中は特に市民サービスを伝えるなど、関西の生活に慣れるようお手伝いする場面もありました。

また教室に行かずとも、ネットのおかげで一日中、TED TALKS や BBC ニュース、ポッドキャストで英語番組を聞くことは容易な時代になりました。企業も個人発信者もよく学んで努力している人たちがばかり。刺激を受けています。

日本文化紹介については「何となく持っている程度の知識を言語化する」メモを作るといえます。例えば7段飾りのお雛様について、「どのようにあのステップを組み立てるのか」というハウツーと、「何を表現しているか」という歴史、「女兒の成長（健康や学力、富や幸福など）を祈るものである」という人類共有の願いを言葉にできるようにしておく。或いは日本文化紹介で茶道を紹介する時、勿論 TEA CEREMONYとしての所作の美しさだけでなく、今日的課題として抹茶が健康食として日本食の中でも見直され、貧血対策として医療機関が勧める食材でもあることを併せて紹介する、といったことでしょうか。

まだ出発まで1か月半あります。今回の対面研修に参加することで先輩の皆様方と同様に、実感をもった経験を語れるようになって帰国できますよう、お祈り頂けたら幸いです。

「孤独」と「孤立」を考える

加納 光子 (1977年 コロンバス)

2018年1月にイギリスは「孤独問題担当国務大臣」を世界で最初に設置した。当時のテリーザ・メイ首相は「孤独は現代の公衆衛生上、最も大きな課題の一つ」とした。孤独な人は、社会的なつながりを持つ人に比べて、天寿を全うせずに亡くなる割合は1.5倍に上という調査結果も発表され、孤独で生じる経済的損失は、約4.8兆円になるという（多賀幹子、NHK解説委員室、2024,2参照）。これに先立ってはイギリスではEU離脱問題で暗殺されたジョー・コックス議員の孤独撲滅への活動があった。コックス議員は、孤独解消はさまざまな社会問題の解決につながると考えたという。しかし、前述の「孤独問題担当国務大臣」は2021年9月に廃止された。

日本では2021（令和3）年2月に「孤独・孤立対策担当大臣」が新設され、内閣官房には「孤独・孤立対策担当室」が設置された。また、2024（令和6）年6月1日から「孤独・孤立対策推進法」が実施されることになっている。

孤独・孤立対策と関連が深いのは、貧困死、孤独死、独居死、孤立死と呼ばれる「死」の態様である。以下、新井康友氏の「高齢者の孤立死の現状とその特徴に関する一考察」（関西社会福祉研究第9号、2023、15-27）を主に参照しながら述べていく。

貧困死は「孤立の原因は貧困にあり、死に至らしめたのは貧困である」とする考え方（都留・唐鎌 2015;40-41）である。孤独死は、孤独のうちに亡くなることであるが、都市再生機構の孤独死の定義は、旧定義では『病死又は変死』事故の一態様で、死亡時に単身居住している賃借人が、誰にも看取られることなく、賃貸住宅内で死亡した事故を言い、自殺および他殺は除く』であったが、2011（平成23）年11月の新定義では、旧定義に加えて「相当期間（1週間）を超えて発見されなかった事故」を要件に加えた。つまり死後1週間を経過してから発見された場合を孤独死ということであった。また日本災害看護学会（2016）は、「従来から周囲との交流がなく、地域から（社会的に）孤立をしている状況の中で、誰にも看取られず一人でなくなった場合」を孤独死とした。

額田勲（2013）氏は、「高齢者の突然死の場合には、生活苦に追われるといった色彩に比較的乏しく、日常的に別居している子どもなど肉親との交流も密な事例も中にはある」としてこの状況を独居死と呼んだ。このことから都市再生機構の新定義や災害看護学会の定義は、額田の言う独居死を除いた孤独死を指していることになる。そして、「独居死以外の孤独死」は社会との関係（心の関係も含めて）を絶っている「孤立死」と言い換えることができるだろう。厚生労働省の「孤立死」の定義は「社会から『孤立』した結果、死後、長時間放置されるような死」である。

筆者は社会的に問題なのは孤独ではなくて孤立である

と考える。なぜならば新井（2023；21）も言うように、孤独は主観的なものであるからである。孤独を好む人もいるかもしれない。実存的孤独は、時には成長への過程として必要と言われることもある。

しかし、社会的存在であると言われる人間にとっては、社会とのかかわりを絶った孤立の場合にはさまざまな不都合・不利益・生存への脅かしが生じると考えられる。先ごろ流行った「ポッチ」と言う言葉も「孤独」というよりも「孤立」を指していて、ポッチは気の毒という意味合いで使われていたように記憶する。

したがって些細なことかもしれないが、日本の「孤独・孤立対策担当大臣」は「孤立対策担当大臣」か、あるいは「社会的孤独・孤立対策担当大臣」という呼称のほうが良いのではないかと思う。もちろん孤立につながる孤独は無くなる方が良いことであるし、心の中のことが配慮されるのは歓迎されることであるが、孤独が政策の対象となるかどうかは微妙であろう。政策の対象となるべきは孤立であり、孤立を生み出す社会の状況である。

前述したイギリスの「孤独問題担当国務大臣」の「孤独」は何をさすのだろうか。主観的なものを含んでいても公衆衛生上の課題なのだろうか。もし、主観的な意味合いをも含む孤独も無くさなければいけないとしているのなら、筆者は「それは恐らく無理なのではないか」と言ってみたくなる。ただし、イギリスの場合は、文化的背景の違いがあるので、「孤独」観は恐らく日本とは違った意味合いをもつことになると思う。が、本稿ではイギリスの「孤独」という言葉の意味・使い方についての探求は控える。

筆者がこの小文を書こうと思ったのは、日本の「孤独・孤立対策担当大臣」に対して、個人の主観に干渉してもらいたくないという感じをもったからである。言葉は大切に用いないと、言葉だけが独り歩きしてあとで思いがけぬ影響が出てくることがある。故に些細なことかもしれないが少し気になっている。

なお、付言すれば、新井によれば2009年の都市再生機構による孤独死の発見件数は、旧定義の65歳以上では472件であったが、1週間を経過した発見をいう新定義の孤立死では112件であった。独居死がいかに多いかということである。そして、2010年から2015年までの新定義による孤独死（つまり孤立死）の発見件数は大幅な増減は見られなかったという。孤立死はさほど変化がなかったということである。孤立を防ぐことも大切だが、孤立していないとされる独居対策も同様に必要であろう。

参考文献

- ・新井康友(2023)「高齢者の孤立死の現状とその特徴に関する一考察」関西社会福祉学会 機関誌編集委員会編集『関西社会福祉研究第9号』、関西社会福祉学会日本社会福祉学会関西地域ブロック、15-27

- ・同上、21
- ・多賀幹子、NHK 解説委員室、2024、2 参照
- ・都留民子・唐鎌直義（2015）『日本の社会保障、やはりこの道
でしょ！』日本機関誌出版センター；40-41
- ・額田勲（2013）『孤独死』岩波書店、85

CIF-JAPAN 総会のお知らせ

日時：2024年6月29日（土）13:00～14:00

会場：法人事務所（からしだね館）

京都市山科区勸修寺東出町75

オンライン（ZOOM）

万障お繰り合わせの上、ぜひご出席ください。

ご案内は後日資料と共にお送りいたします。

なお、当日午前中に理事会を開催いたします。

《会費納入のお願い》 年会費 3,000 円

口座名義：特定非営利活動法人CIFジャパン

他金融機関から

【店名】 四四八（読み ヨンヨンハチ）

【店番】 4 4 8

【預金種目】 普通預金

【口座番号】 5 4 5 1 9 7 3

郵便局から

【記号】 14400

【番号】 54519731

【名前】 トクヒ シーアイエフジャパン

《編集後記》

ニュースレター第52号をお送りします。

コロナ禍が過ぎ、世相が一変したようです。デジタル化・IT化の進む中、便利さとは反対に温かいふれあいの機会が少なくなっていくように感じます。が、CIFのふれあい、学び合いの場であるIPEPの活動は再開されております。嬉しいことです。

ニュースレターに関しましてご意見がありましたら下記アドレスまでご連絡ください。

原稿ご投稿も写真ご投稿も歓迎です。

cifjapannews2022k@gmail.com

また、CIF ジャパンの活動そのものについてのご意見、ご提言は下記アドレスにお寄せください。

cifjapan08@gmail.com

<加納光子>

四季の風景



春 丹波篠山にて



夏 淡路島にて



秋 修繕寺にて



冬 長谷寺にて